

2006年鹿児島県北部豪雨災害における商店街の被害と復旧状況

正会員 ○ 徳田光弘*
同 友清貴和**

鹿児島県 豪雨災害 商店街
被害 復旧 地域施設

1. はじめに

2006年7月におきた鹿児島県北部豪雨災害は、川内川と米ノ津川の大規模な氾濫(図1)を一因に、県北部中山間地域に多大な住家・非住家被害をもたらした(表1)。

本論は、中山間地域における地域施設ストックの一つである商店街を題材に、被災地内の商店街の被害・復旧状況に関する調査結果報告を経て、商店街の公共性に関する問題提起を行う。調査対象は、豪雨災害で最も河川氾濫による浸水被害が大きかったさつま町(旧宮之城町)虎居地区商店街(表2)で、中でも床上浸水高が大きい目抜き通りの商店を中心に選定した30店舗(次頁表3)とした。調査は、2006年8~12月の予備調査をもとに2007年1月中旬に行い、商店の被害・復旧・再開状況を聞き取りながら、調査票に被災直後から現在までの復旧曲線を対象者の合意のもと描くという形式で実施した。

2. 商店の被害状況

□建物 虎居地区は、土地全体がすり鉢上になっている

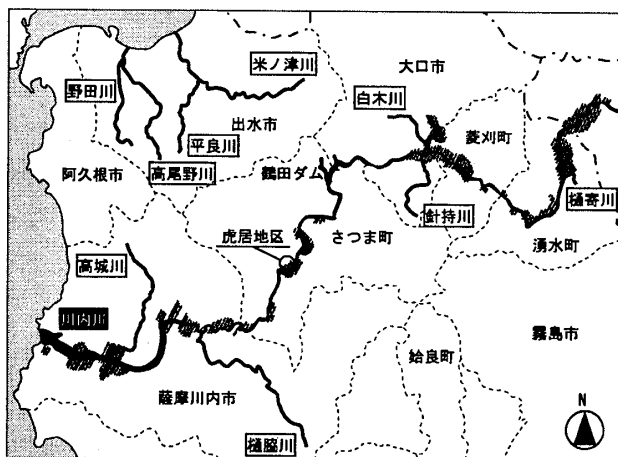


図1 浸水被害状況と虎居地区の位置

表1 豪雨災害による住家・非住家被害

	住家被害					非住家被害	
	全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水	全壊	半壊
大口市	10	130	11	49	103	3	0
出水市	3	358	33	56	623	3	1
薩摩川内市	9	61	9	18	83	10	16
霧島市	1	1	0	1	13	0	0
阿久根市	1	2	7	14	118	2	0
さつま町	214	367	0	135	97	18	18
菱刈町	4	76	12	37	68	6	2
長島町	0	0	1	0	33	0	0
湧水町	0	230	1	66	127	0	2
合計	242	1,225	74	376	1,265	42	39

表2 虎居地区被災事業所の営業再開状況

	被災事業所	事業再開	移転	不明	廃業	比率
虎居地区	133	115	5	6	7	86.5%

※さつま町商工会調べ(2006年12月22日現在)

ため浸水被害が著しく、地区全体の最大床上浸水高が450cm、全壊・半壊被害が多い。対象商店も最大床上浸水高が350cm、半壊以上の被害が殆どを占める。床下・壁内・天井裏への泥の流入と悪臭によって幾度の清掃作業と大規模改修工事が余儀なくされる。

□機械・設備 商店内に置かれた棚や大型機器、エアコン室外機などの機械・設備は、非難前に高所に移動した一部を除き、殆どが使用不可能になる。修理できても泥の流入や匂いなど衛生上再使用不可能と判断した設備もある。

□商品 各商店に陳列した商品は、一部避難させたものを除き、濁流に飲み込まれ流される。残った商品を洗って、無料あるいは半値以下で店先に陳列した商店もある。商品の他に水に浸かった患者カルテや顧客データ等の重要書類は、干す、書き写すなどして対応する。

3. 商店の復旧状況

災害後1~2週間程は、ボランティア(延べ2,611人)、役場職員、諸団体、親族や知人友人、高校生、また商店によっては取引先の協力のもと、清掃作業を中心に行う。

その後の各商店の復旧過程(曲線)は、概ね3つの傾向に分けられる(次頁表4・図2)。安定復旧型は、災害直後より着実に再開に向けて復旧を進めた商店である。店主の年齢層が比較的若く、改修工事が早く済み、早く再開できた商店が主に該当する。二段階復旧型は、復旧・商店再開を段階に分けて進めた商店である。顧客のニーズ等にあわせて商店業務を部分再開し、一部収入を得ながら、住居部の復旧作業、大工不足による改修工事待ち、あるいは本再開の有無の検討などを行っていた商店が該当する。遅延復旧型は、復旧・商店再開に向けた取り組みが諸事情によって遅れた商店である。商店と兼用の住居部も甚大な被害を受け住居の復旧に追われた、金銭面を踏まえ再開するか検討あるいは廃業しようと考えていた、といった商店が該当する。このように豪雨災害によって壊滅的打撃を受けた商店街の復旧は種々の要因によって異なる。ただし共通する再開の主因あるいは一因は、地縁関係のみならず清掃作業協力者や周囲からの励ましにある。

4. おわりに

中山間地域の商店街は、商業機能の他に地域生活者、特に高齢者のコミュニティ形成の場として公共性をもつ。このことは、再開店後、店内に顧客が憩えるスペースを設けた商店が複数あったことにも表れている。地方行政の財政難にあつては、商店街を含め公共性を持つ民間の地域施設も一財産と捉えた地域再生策の検討が重要と思われる。今後、災害で顕在した商店街の公的役割の詳細を求める。

Damage and Restoration Conditions of Shopping District in Torrential Rains Disaster of Northern Kagoshima, 2006

Mitsuhiro TOKUDA, Takakazu TOMOKIYO

表3 調査対象事業所の属性

商店番号	床高/水深 (cm)	業種/店主年代 (歳代) / 後継者有無/店舗形態
[No.01]	40	美容院/30/未/持・店+住
[No.02]	100	タクシー-/-/持・店のみ
[No.03]	-	金融-/-/持・店のみ
[No.04]	225	自転車/40/未/持・店+住
[No.05]	144	時計/40/未/持・店+住
[No.06]	170	薬局/30/未/貸・店のみ
[No.07]	260	飲食/30/未/貸・店+住
[No.08]	270	菓子/50/有/持・店+住
[No.09]	250	薬局/60/無/持・店+住
[No.10]	350	酒屋/40/未/持・店+住
[No.11]	240	食料品/40/未/持・店+住
[No.12]	-	飲食/50/有/持・店+住
[No.13]	196	衣料品/50/未/持・店+住
[No.14]	200	電器/50/未/持・店+住
[No.15]	275	衣料品/30/未/持・店+住
[No.16]	260	酒屋/20/未/持・店+住
[No.17]	250	魚屋/40/未/持・店+住
[No.18]	250	薬局/40/未/持・店+住
[No.19]	-	印鑑/60/有/持・店+住
[No.20]	240	陶器仏具/60/未/持・店+住
[No.21]	300	飲食/50/無/持・店+住
[No.22]	-	食品製造/60/有/持・店のみ
[No.23]	227	眼鏡/40/未/持・店+住
[No.24]	390	美容院/60/未/持・店+住
[No.25]	270	飲食/60/無/持・店+住
[No.26]	-	浴場/50/有/持・店のみ
[No.27]	70	金物/50/有/持・店のみ
[No.28]	240	事務所/30/未/持・店+住
[No.29]	250	食料品/60/無/持・店+住
[No.30]	200	化粧品/50/未/持・店のみ

※表中「-」は不明

表4 被災事業所の復旧傾向

復旧類型	商店番号	再開日 (月/日)	復旧率% (07年1月現在)	復旧傾向の目安 (再開日/復旧速度/復旧率)
[No.01]	8/11	95	早/早/高	安定復旧型
[No.06]	8/16	30	早/早/低	安定復旧型
[No.07]	8/9	100	早/早/高	安定復旧型
[No.12]	8/30	100	早/早/高	安定復旧型
[No.13]	10/25*	80	遅*/遅/高	安定復旧型
[No.14]	8/10*	90	早/遅/高	安定復旧型
[No.15]	10/10*	100	早/遅/高	安定復旧型
[No.22]	8/10	100	早/早/高	安定復旧型
[No.24]	8/11	90	早/早/高	安定復旧型
[No.25]	9/9	100	早/早/高	安定復旧型
[No.26]	9/1*	80	早/早/高	安定復旧型
[No.27]	7/23	90	早/早/高	安定復旧型
[No.28]	10/15*	90	遅*/早/高	安定復旧型
[No.10]	10/15*	90	遅*/遅/高	一段落復旧型
[No.16]	8/7*	75	早/遅/高	一段落復旧型
[No.17]	12/21*	45	遅*/遅/低	一段落復旧型
[No.18]	12/1*	95	遅*/遅/高	一段落復旧型
[No.19]	8/7*	30	遅*/早/低	一段落復旧型
[No.23]	8/13	90	早/早/高	一段落復旧型
[No.30]	10/3*	95	遅*/遅/高	一段落復旧型
[No.05]	10/4	80	遅/遅/高	遅延復旧型
[No.08]	11/23	90	遅/遅/高	遅延復旧型
[No.09]	10/10	100	遅/遅/高	遅延復旧型
[No.11]	9/20	80	遅/遅/高	遅延復旧型
[No.20]	12/2	60	遅/遅/中	遅延復旧型
[No.21]	10/27	70	遅/遅/中	遅延復旧型
[No.29]	11/28	25	遅/遅/低	遅延復旧型
[No.02]	7/25	100	早/早/高	その他
[No.03]	7/24	100	早/早/高	その他
[No.04]	7/23	60	早/遅/中	その他

※表中*は再開日前日に仮閉店等の部分再開有

※表4の各復旧類型から編纂部の商店を図2へ抜粋。(図上から[No.01][No.10][No.20])

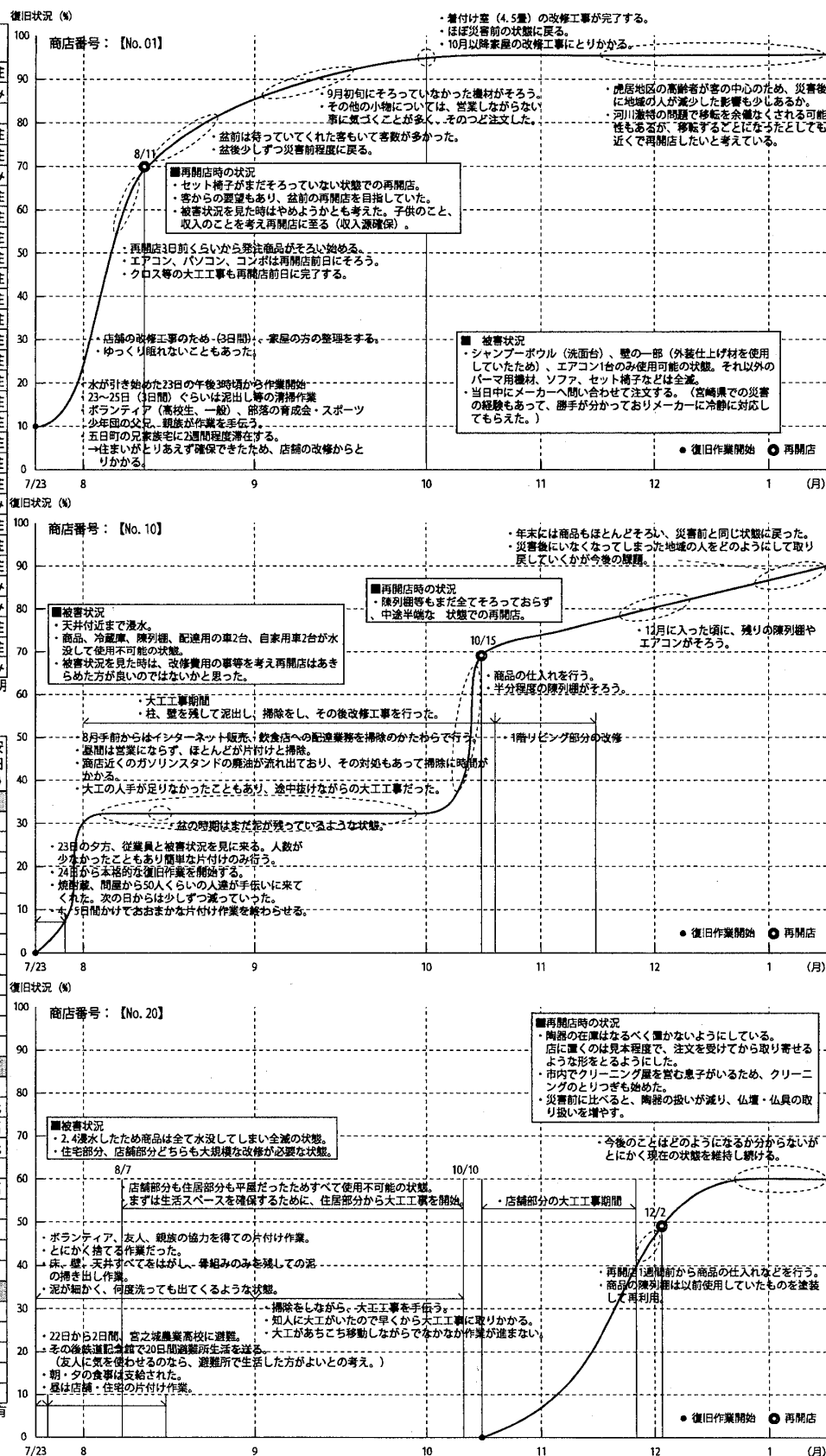


図2 被害・復旧過程調査表

* 鹿児島大学工学部 助教・博士 (芸術工学)

Assistant Prof., Faculty of Engineering, Kagoshima University, Dr. Design

** 鹿児島大学工学部 教授・工博

Prof., Faculty of Engineering, Kagoshima University, Dr. of Eng.